

<第1号議案>

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会 2018年(平成30年)度事業報告書

(2018年(平成30年)1月1日~12月31日)

2018年(平成30年)度実施した事業の概要は、次のとおりである。

1. 第69回結核予防全国大会の後援

結核予防会主催の第69回結核予防全国大会を後援した。

なお、本協議会関連の主なる行事は次のとおりである。

定期社員総会 2月13日(火) 11:00~12:00 リーガロイヤルホテル広島ロイヤルホール1

懇談会 2月13日(火) 17:10~17:50 リーガロイヤルホテル広島瀬戸の間

記念写真撮影 2月13日(火) 18:00~18:10 リーガロイヤルホテル広島「写真室」

【第1日】 2月13日(火)

リーガロイヤルホテル広島(広島県広島市)

イ. 研鑽集会

ロイヤルホール2・3

13:30 ~ 16:00

テーマ:「結核の低まん延化を踏まえて、すすめよう、広げよう早期発見と支援の輪」

基調講演:「結核診療所」から地域医療連携へ - 結核低まん延化の中で」

東広島医療センター 元感染症診療部長

重藤 えり子

シンポジウム

座長: 広島県感染症・疾病管理センターセンター長

桑原 正夫

公益財団法人結核予防会結核研究所副所長

慶長 直人

アトラクション: 広島ジュニアマリンバアンサンブルによるマリンバ演奏

ロ. 大会歓迎レセプション クリスタルホール

19:00 ~ 20:30

【第2日】 2月14日(金)

リーガロイヤルホテル広島(広島県広島市)

イ. 大会式典・議事

ロイヤルホール

10:00 ~ 11:20

式次第

(1) 開会の辞 公益財団法人広島県地域保健医療推進機構会長 松浦 雄一郎

(2) 大会運営委員長あいさつ 広島県知事 湯崎 英彦

(3) 結核予防会理事長あいさつ 公益財団法人結核予防会理事長 工藤 翔二

(4) 結核予防会総裁おことば 公益財団法人結核予防会総裁

(5) 秩父宮妃記念結核予防功労賞第21回受賞者表彰

(6) 来賓祝辞 厚生労働大臣 加藤 勝信

公益社団法人日本医師会会長 横倉 義武

社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会会長 木下 幸子

ロ. 特別講演

ロイヤルホール

11:30 ~ 12:20

「広島酒造りの歴史と国産ウイスキーの誕生」

竹鶴酒造株式会社相談役

竹鶴 壽夫

(7) 閉会の辞 広島県健康福祉局局长

佐藤 敏

2. 結核予防関係婦人団体幹部研修会の開催

結核予防関係婦人団体中央講習会を結核予防会との共催により開催した。

地区別結核予防婦人団体幹部研修会を、開催地区結核予防会各支部と地元婦人会との共催のもとで開催した。

結核予防を中心とした公衆衛生知識の向上と、各参加団体会員相互の交流を目的として実施した。

(1) 第22回結核予防関係婦人団体中央講習会

期 日： 2018年(平成30年)2月27日(火)～28日(水)

場 所： KKRホテル東京(千代田区)

参加人数： 104名

(2) 地区別結核予防婦人団体幹部研修会(5地区)

イ. 北海道地区	(北海道)	7月10日～11日	国立大雪青少年交流の家
ロ. 東北地区	(青森県)	11月15日～16日	グランドサンピア八戸
ハ. 東海北陸地区	(石川県)	12月13日～14日	KKRホテル金沢
ニ. 近畿地区	(和歌山県)	11月19日～20日	ダイワロイネットホテル和歌山
ホ. 九州地区	(熊本県)	11月14日～15日	メルパルク熊本

3. 結核予防週間の共催

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、結核予防会、日本医師会、並びに本協議会共催で、2018年(平成30年)9月24日～30日に実施した。本週間中には、各地域において全国一斉複十字シール運動キャンペーンをはじめとする各種の行事を行うとともに、結核予防への関心を高めた。

4. 教育広報誌「健康の輪」の発行

結核及び公衆衛生全般の知識の向上と会員相互の連携を深める目的で発行しているものであるが、2018年(平成30年)度も例年通り3月、7月、11月にそれぞれNo.122、No.123、No.124を発行配布した。A4版・10頁。年3回。1回につき約36,000部発行。

5. 複十字シール運動の後援、実施

結核予防会主催、厚生労働省・文部科学省及び本協議会後援により実施されている本運動に参加し、結核予防の教育広報並びに資金造成に努めた。

具体的には、以下の2事業を実施した。

- (1) 複十字シール運動開始日(8月1日)を中心として、結核予防会本部役員と本協議会会長が厚生労働大臣室を、結核予防会各都道府県支部幹部職員と本協議会各都道府県の会長が各知事室を訪問し、「結核予防全国大会宣言」の説明に加え、全国及び地域の結核の現状を報告することにより、複十字シール募金運動の意義を理解していただき、各自治体から結核予防思想について広く一般に伝え、一層の普及を図っていただくよう依頼した。本年度の厚生労働大臣表敬訪問(宇都宮健康局長が対応)は9月10日に行った。全国結核予防婦人団体連絡協議会から代表として木下会長と山下事務局長、結核予防会から工藤理事長、前川事業部長、小林募金推進部長が出席した。

(2) 結核予防週間の初日(9月24日)を中心として全国一斉複十字シール運動キャンペーンを、結核予防会各都道府県支部との協力の下に実施し、本運動及び結核予防の普及啓発を図った。

6. 普及広報資材の作成

本年度は、全国一斉複十字シール運動キャンペーン用資材としてカットバン(シールぼうやのカラーデザイン)を34,000個作成し、キャンペーン時に配布した。

7. 国際協力

結核予防会が行っている国際協力事業を進めるにあたって、複十字シール基金を通じて資金造成に協力した。

カンボジア結核対策スタディツアー2018は、一般、結核予防会全国47支部、本協議会全49婦人団体に応募を募り、婦人会2名、一般3名、事務局引率2名の計7名が参加した。

下記スケジュールにより、具体的にシール基金が結核対策の国際協力に役立っている現場を目で見て、肌で感じて、更なる募金活動強化につなげる有意義な視察となった。

カンボジア結核予防会に活動資金として1,000ドル贈呈し、現地ヘルスポランティアへ、ユニホームとして、ポロシャツ300枚を届けた。

期 日 2018年(平成30年)12月4日~12月8日(4泊5日)

スケジュール

12月4日	成田発(10:50)ープノンペン着(15:40) ホテルチェックイン
12月5日	CATAプロジェクトサイト視察(縫製工場)、CATA事務所表敬・CATA活動説明・CATA婦人会との交流・CENAT視察 市内観光(トゥールスレン博物館)
12月6日	ピアレン医療圏(OD)視察・州病院長表敬・活動説明、州病院(デジタルX線・LED顕微鏡)、ロカ保健所(HC)見学、リアップHC見学 JICAカンボジア事務所表敬・活動説明、自由行動
12月7日	健診・検査センター視察、プロジェクト概要説明 在カンボジア日本国大使館表敬・活動報告 プノンペン発(22:50)ー
12月8日	成田着(6:30)

8. 世界結核デー

3月24日はWHOが制定した「世界結核デー」である。「結核のない世界」をめざして、その周知のために広報活動を行った。

9. ストップ結核パートナーシップ日本への参画

国内の結核対策を充実させ、結核低まん延国化を図る。またこれまでの知見を生かして結核が多い地域への支援を充実させる。このため、行政機関、研究機関、市民社会、民間企業などの多様なセクターで構成された連合体を組織し、加盟団体は協調して政治的支援、住民参加を得て日本と世界の結核対策を推進させる活動を支援した。

また、9月26日に実施された「東京タワー結核レッドライトアップイベント」では、結核予防週間キャンペーン啓発事業の一環として東京タワーイベントスペースにて普及啓発活動に協力した。

10. 生活習慣病対策の後援

これまでの僻地・離島を含めた全国津々浦々で結核健診と保健指導を一体として行ってきた経験と実績をこれからの生活習慣病対策に活かすべく、健診と保健指導を中心とする JATA 健康ネットワーク事業を予防会本部支部防結組織を挙げて推進している。

今日的国民病となった生活習慣病対策に取り組む結核予防会を支援し、さまざまな健診の受診率向上の推進及び生活習慣病対策を国民運動に高めるためこの活動を後援した。

11. COPD対策事業への取組

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見と早期治療のための普及啓発を行っている結核予防会と協力し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）に関する知識を深め国民の認識と理解を高めるために、地域住民をはじめとする社会への積極的な働きかけをして、第二次健康日本21の目標「80%の認知率」達成のための活動に協力した。

12. 世界禁煙デー

5月31日はWHOが制定した「世界禁煙デー」である。地球上からタバコの煙がない1日にする運動に協力した。

13. 女性の健康週間の協力

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会主唱の「女性の健康週間」に本協議会は協力関係団体として取り組む。3月1日～8日（ただし、地域の実情による期間延長等の変更は差し支えない）の本週間中には、子宮がん・乳がん健診等の受診率アップや、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図るため、行政が行う各種の啓発事業及び行事等に積極的に協力した。

14. ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトの共催

一般社団法人ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトが主催する医療支援を中心にした被災地（岩手県・宮城県・福島県）への支援活動「心の絆プロジェクト」に本協議会は共催し、結核予防会と共に健康チェックのひとつとして肺年齢測定を無料で平成28年度まで実施してきた。それにより、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の理解を呼びかけ、多くの被災住民に生活習慣病のケア活動ができた。

2018年（平成30年）度は、11月11日、有志15名が宮城県気仙沼市内の脇（ないのわき）地区災害公営住宅集会所を訪問して「健康よろず相談会」を開催した。本協議会もこの活動に賛同し、1名参加して肺年齢測定を実施した（現地参加者16名）。

昨年の参加者と1年ぶりの再会を喜び合い、被災地の方々との絆が一段と深まり、継続の重要性を感じる事が出来た。

15. 健康日本21推進全国連絡協議会への協力

すこやか生活習慣国民運動実行委員会の加入団体として、医療、保健、栄養（食生活）、運動、

禁煙の各専門分野（分科会）からの情報を共有し、事業展開に協力した。

16. 会議の開催

(1) 定期社員総会

期日 2018年（平成30年）2月13日（火） 11:00～12:00
場所 リーガロイヤルホテル広島 ロイヤルホール1
議案 平成29年度事業報告・各婦人会からの事業報告・収支決算報告について
平成30年度事業計画（案）・収支予算（案）について
役員を選任について

(2) 理事会

第1回（書面決裁）

発送日 2018年（平成30年）1月17日（水）
議案 平成29年度事業報告・収支決算報告について
平成30年度事業計画（案）・収支予算（案）について
一部役員を選任について
会長・副会長・執行理事からの活動報告

第2回

期日 2018年（平成30年）2月13日（火） 12:10～12:30
場所 リーガロイヤルホテル広島 安芸の間
議案 新理事の紹介、会長・副会長の互選について

臨時（書面決裁）

発送日 2018年（平成30年）4月26日（木）
議案 一般社団法人日本女性薬局経営者の会の入会について

第3回

期日 2018年（平成30年）11月27日（火） 13:30～16:00
場所 結核予防会5階 会議室
議案 定期社員総会の開催について
2019年（平成31年）度事業計画（案）について
2019年（平成31年）度収支予算（案）について
顧問就任依頼（案）について
会長・副会長・業務執行理事からの活動報告
その他
①結核対策カンボジアスタディツアーについて